



## 博物館浴/子ども・若者/メンタルヘルス・Wellbeing



令和4年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

# 2023 九州産業大学国際シンポジウム

## 博物館と医療・福祉のよりよい関係

### ～日本・英国をつなぐオンライン開催～

博物館は地域社会で、どんな役割を果たせるのでしょうか？

私たちは、そんな疑問を持つ中、「博物館と医療・福祉の連携」に注目しました。そして、文化庁からの支援を受け、米国や英国の先進事例調査を進め、両国の博物館関係者と交流を続けてきました。

近年は、その成果を広く日本の博物館関係者と共有するため、2019年は「地域社会での博物館の役割」、2020年は「博物館と医療・福祉とのよりよい関係」、2021年は「コロナ禍での博物館活動」「博物館と高齢者の健康、幸福感」、そして2022年は「博物館浴と高齢者の健康、幸福感」をテーマに、米国、英国をつないだ国際シンポジウムを対面やオンラインで開催しました。

2023年は、「博物館浴/子ども・若者/メンタルヘルス・Wellbeing」をキーワードにします。

ユネスコの「世界子供白書2021」によると、世界の1億6000万人強の10歳～19歳の子どもや若者が、メンタルヘルス支援の必要があると報告しています。日本(国立成育医療研究センター調査)や英国(NHS=国民保健サービス調査)でも、6人に一人の割合となるという調査結果があります。こうした深刻な事態の改善に向け、地域の社会資源の一つである博物館は、どのようなメンタルヘルス支援ができるのでしょうか？

そこで今回は、「芸術文化と健康」に関する国家プロジェクト＝‘SHAPER’ (Scaling-up Health-arts Programmes: Implementation and Effectiveness Research) を主導する、英国、King’s College London、そして「博物館コレクションを活用した、子ども・若者のメンタルヘルス支援プログラム＝‘Together Through Art project’」を展開している英国、ダリッチ・ピクチャー・ギャラリーから事例報告を受け、その概要・成果や今後の展望について、日本の参加者と一緒に考えていきたいです。

\*博物館浴：博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動。

**オンライン開催** (Zoomを使用) **2023.2.18 SAT**

同時通訳あり

● 日本時間 19:00 >>> 21:30 ● 英国時間 10:00 >>> 12:30

定員 100名(先着順) 受講料 無料

オンラインにて日本、英国を同時中継。(株)サイマル・インターナショナルによる同時通訳あり。 \* 要事前申込 (お申し込みは裏面をご覧ください)

□主 催：「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会 (九州産業大学美術館<代表>、海の中道海洋生態科学館、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)、九州産業大学



# 2023 九州産業大学国際シンポジウム

## 博物館と医療・福祉のよりよい関係 ～ 日本・英国をつなぐオンライン開催～

### オンライン開催 (Zoomを使用) 2023.2.18 SAT

● 日本時間 19:00 >>> 21:30 ● 英国時間 10:00 >>> 12:30 オンラインにて日本、英国を同時中継。

□ 主催：「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会  
(九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、海の中道海洋生態科学館、福岡市博物館、福岡市美術館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)、九州産業大学

#### 開催内容

● 2023.2.18 SAT 司会進行：緒方 泉 / Izumi Ogata 九州産業大学地域共創学部教授

### 「芸術文化・博物館浴による、子ども・若者のメンタルヘルス支援を考える」

● 登壇者：ニッキー・クレーン / Nikki Crane 英国：King's College London

ジェーン・フィンドレー / Jane Findlay 英国：ダリッチ・ピクチャー・ギャラリー

キンバリー・クッキー-ガム / Kimberly Cookey-Gam 英国：ダリッチ・ピクチャー・ギャラリー

#### スケジュール

日本時間

19:00 ● 開催の挨拶  
大日方 欣一 / Kinichi Obinata

19:05 ● 発表  
ニッキー・クレーン  
なぜいま「芸術文化と健康」に関する国家プロジェクト  
を行うのか? - 'SHAPER'が目指すものとは? -

19:25 ● 発表  
ジェーン・フィンドレー  
博物館のコレクションを活用した 'Together Through  
Art project' は、若者・子どもたちのメンタルヘルスを  
どう支援しているのか?

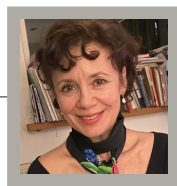
19:50 ● 発表  
キンバリー・クッキー-ガム  
私が 'Together Through Art project' に  
参加して得た「幸福感」とは?

20:10 ● 休憩 (チャットで質問募集)

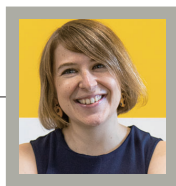
20:25 ● 質問を基にしたディスカッション  
モデレーター：緒方 泉  
パネリスト：ニッキー・クレーン  
ジェーン・フィンドレー  
キンバリー・クッキー-ガム

21:15 ● 英国の3名から、まとめのメッセージ

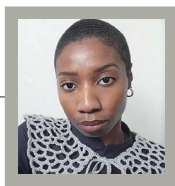
21:25 ● 閉会挨拶  
大日方 欣一



ニッキー・クレーン  
キングス・カレッジ・ロンドン  
Arts, Health & Wellbeing Lead



ジェーン・フィンドレー  
ダリッチ・ピクチャー・ギャラリー  
Head of Programme and  
Engagement



キンバリー・クッキー-ガム  
ダリッチ・ピクチャー・ギャラリー  
Creative Peer Facilitator



大日方 欣一  
九州産業大学芸術学部教授  
九州産業大学美術館長



緒方 泉  
九州産業大学地域共創学部教授

申込方法

次の情報を明記の上、お申し込みください。2023年1月9日(月)から先着順に受け付けます。  
受講決定可否、Zoomの参加用URLを後日メールにて通知します。  
件名：2023国際シンポジウム  
内容：① 氏名、所属、② このシンポジウムに期待すること

メール申込は  
こちら



museum03

参加対象

博物館・医療福祉関係者、大学教員、学生、博物館に関心のある市民

定員：100名(先着順) 要事前申込

受講料：無料

申込メール・  
問合せ先

九州産業大学「2023国際シンポジウム」事務局

E-mail: museum03@ip.kyusan-u.ac.jp (事務局長：中込 潤)

事業責任者

緒方 泉 (九州産業大学地域共創学部教授)

KYU 九州産業大学美術館  
Museum of  
Kyushu Sangyo University

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1  
tel 092-673-5160 / fax 092-673-5757  
ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp  
https://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/

主 催

「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会  
(九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、海の中道海洋生態科学館、福岡市博物館、福岡市美術館、田川市  
石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)、九州産業大学

